

都市再生整備計画

ちいききよてんみと
地域拠点御津地区

あいち とよかわ し
愛知県 豊川市

令和5年3月(当初)
令和6年3月(第1回変更)
令和7年3月(第2回変更)

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	☒
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	☐
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	☐
まちなかウォークアブル推進事業	☐

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	愛知県	市町村名	豊川市	地区名	地域拠点御津地区	面積	253.2	ha
計画期間	令和5年度	～	令和9年度	交付期間	令和5年度	～	令和9年度	

目標
大目標:鉄道駅を中心とした、利便性の高い魅力あるまちづくり 目標1 地域拠点にふさわしい、コンパクトで魅力あふれる都市空間の形成 目標2 地域の活性化に資する基盤整備の実施 目標3 安全・安心に暮らし続けられる生活環境づくり
目標設定の根拠
都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方えを含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。 豊川市立地適正化計画(平成29年2月策定)
【都市の将来像】 歴史・文化が息づく自然豊かで快適な持続発展都市 とよかわ
【まちづくりの方針】 ○都市機能の集約に向けた方針 (1)鉄道の利便性を活かし、主要な鉄道駅周辺へ必要な都市機能を配置 (2)全ての市民の生活を支え、多世代の交流を促進する都市機能を配置 (3)周辺拠点との連携による機能補完も含め、必要な都市機能を効率的に確保 ○居住の誘導に向けた方針 (1)都市機能が集積した生活利便性の高い拠点周辺の市街地に人口が集積したコンパクトなまちを形成 (2)市民等の多様な居住意向に対して市内で居住地の選択が可能なまちを形成 (3)自然災害に対し安全な地域への居住を誘導 ○拠点との交通ネットワークの充実に向けた方針 (1)本市の公共交通軸を形成する鉄道4路線について、高い利便性を維持 (2)地域のニーズや需要に即したメリハリのある効率的な公共交通体系を形成 (3)拠点間を連絡する幹線道路ネットワークの形成・生活道路の安全と快適性を確保 (4)誰もが安全・快適に移動できる交通環境を確保 ○活力とにぎわいの創出に向けた方針 (1)市内外からの交流人口の拡大による雇用機会を創出することで地域経済の活性化を図る (2)通勤しやすい居住地を確保 (3)多様な交通手段により移動可能な広域交通環境を形成
まちづくりの経緯及び現況
本地区は豊川市立地適正化計画の地域拠点であり、市域西部の三河湾に面し、名古屋、豊橋方面へ通じるJR東海道本線愛知御津駅周辺を含む地区である。 地区周辺には南西部に国道23号、北東部に国道23号豊橋バイパス(都市計画道路名豊道路)及び国道1号が位置し、各路線をつなぐように主要地方道東三河環状線が本地区内を東西に貫いているため、地域の広域交通の結節点として重要な役割を担っている。 本地区は、合併前の旧宝飯郡御津町時代から愛知御津駅を中心に市街地が形成されてきたが、駅周辺の都市計画道路整備の延延や、それに伴う駅前広場整備の遅延、加えてJR東海道本線による市街地の分断等の影響により、一時期のにぎわいが衰えつつある。また、線路により市街地が南北に分断されているため、南北のアクセスは駅西側の御油踏切又は駅東側の幅員が極めて狭い梨野橋梁(ガード下)を利用することとなるが、どちらも歩行者専用通路が確保されておらず、線路を超えて通学等をする小中学生や、地域の病院やスーパー等を利用する高齢者にとって危険な状況にある。加えて、本地区内にある公園の遊具等や下水道施設(管渠、マンホール蓋等。)は、整備後数十年が経過し、老朽化に伴う機能不全により地域住民の日常生活に支障が生じたり、災害時の破損による地域住民の避難行動への影響等が懸念されているため、平成28年3月に策定した「豊川市公共施設等総合管理計画」において、適切な予防保全の実施による長寿命化や計画に基づく更新時に安全性、耐震性等の機能向上を行うこととされている。 以上の地域における課題を解決するため、歩行者が安全に南北を往来できる自由通路の整備、及び現状の愛知御津駅は改札口が線路北側にしかないこと、自由通路整備予定地が現駅舎の位置であること等を踏まえ、自由通路整備にあわせた橋上駅舎整備に加えて、駅前広場や駐車場等の周辺整備を一体的に実施するとともに、公共施設の計画的な更新にあわせた安全性、耐震性の機能向上により、鉄道駅を中心としたにぎわいの創出及び地域住民の安全の確保を推進する必要がある。 さらに、平成26年度から平成30年度までを計画期間として、本地区を含む区域を対象として施行した「都市再生整備計画(豊川御津音羽地区)」においてインフラ整備を実施してきたが、平成30年度に実施した事後評価においては、目標を定量化する指標として掲げた「建設・整備分野に関する市民満足度の向上」は目標値を達成していない。効果発現要因として駅周辺において実施した道路整備が未完となっていることが挙げられており、また、今後のまちづくりの方策においても「住民のニーズによる整備を継続することにより、地区内の都市機能・生活環境のさらなる充実を図る。」とされている。また、平成29年2月に策定した「豊川市立地適正化計画」において、本地区内にあるJR愛知御津駅の周辺を本市の地域拠点に位置付けており、地域拠点にふさわしい、さらにコンパクトで魅力ある都市空間の形成に資する取組がこれまで以上に求められている。
課題
・安全・安心に関する事業を推進し、都市の魅力を向上させ、定住人口の増加を図る必要がある。 ・地域住民が線路の南北を安全に往来できる自由通路を整備し、線路による市街地の分断を解消することで、地域の一体感の醸成を図る必要がある。 ・南北自由通路から利用できる橋上駅舎として整備することで、特に線路南側からの利便性を向上するとともに、駅前広場を整備することで地域の活性化を図る必要がある。 ・駅前広場における駐車場及び駐輪場を整備をすることで、パークアンドライドを推進する必要がある。
将来ビジョン(中長期)
・第6次総合計画において、「機能的な市街地の形成」として「拠点周辺への居住促進」が、「安全・安心事業」として「交通安全対策の強化」、「防犯対策の推進」、「防災対策の強化」、「消防・救急体制の充実」が位置付けられている。 ・平成29年2月に策定した豊川市立地適正化計画において、居住誘導区域の人口密度の維持及び主要な鉄道駅の乗車人員の増加を目標としており、目標を実現する施策として、魅力的な居住空間の整備、にぎわいを創出する都市環境の整備等を位置付けている。 ・平成21年8月に策定した新市基本計画において、「光と緑に映え、ゆたかで、住みよい、夢のあるまち」を新市の将来像として定めている。また、防犯・交通安全対策の強化等に努めることで「安全で快適な生活環境が整っています」、ゆとりある住環境の形成や都市基盤の計画的な整備等に努めることで「住み心地よいまちの空間が生み出されています」、まちの特徴を活かし観光や交流を通じた活力ある生活環境づくりなどにより「個性があり活力あるまちになっています」を、新市のまちづくりの目標としている。

都市構造再編集
中支援事業の計画

※都市構造再編集
中支援事業の場合に記載すること。それ以外
の場合は本欄を削除すること。

都市機能配置の考え方

(1)人口減少、少子高齢化により機能低下が想定される都市機能がある中で、将来にわたり必要な機能を維持し、自動車を使わずに誰もが利用できるよう、鉄道の利便性を活かし、主要な鉄道駅周辺へ必要な都市機能を配置する。
(2)市域を横断する名鉄豊川線や姫街道沿線の拠点周辺では、市外や市内各所からアクセスしやすい立地特性を活かし、全ての市民の生活を支え、多世代の交流を促進する都市機能を配置する。
(3)後背地に豊かな自然が広がる拠点では、将来にわたり住民の交流や豊かな定住環境を支えることができるよう、周辺拠点との連携による機能補完も含め、必要な都市機能を効率的に確保する。

都市再生整備計画の目標を達成するうえで必要な誘導施設の考え方

※誘導施設を整備する場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

本市立地適正化計画において、誘導施設及び各拠点における充足状況を整理している。
本計画の計画区域に含まれる地域拠点御津地区の状況については、以下のとおり。
○維持・拡充(都市機能誘導区域に立地しておりその機能を今後も維持・拡充する)
通所・訪問系高齢者施設、幼稚園・保育所等、生涯学習センター、支所
○補完(都市機能誘導区域外ではあるが駅の徒歩圏にある)
図書館
○誘致(駅の徒歩圏になく新たに都市機能誘導区域に誘致する)
医療施設、通所・訪問系障害児福祉施設、通所・訪問系障害者福祉施設、大規模小売店舗

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

・居住地として便利で快適な居住空間及び都市空間としてにぎわいのある都市環境を確保するため、街路事業や土地区画整理事業等の都市基盤整備を実施する。
・既存公園の適切な維持管理や改修・再整備を行うことで公園の魅力向上を図り、居住者の「憩い」、「レクリエーション」、「コミュニケーション」の場の提供を推進する。
・居住地では落ち着いた空間を、商業地ではにぎわいを演出する空間の創造をめざし、既存の民有地緑化制度を活用するとともに、新たに景観計画の策定について検討し、本市の自然環境を活かした緑が映える良好な景観形成を推進する。
・通学路をはじめ、誰もが安全・安心に移動できる歩行空間を確保する。
・市民生活等を支える公共施設や道路等の都市基盤の安全性や機能を持続的に確保していくため、長期的な視点をもって、公共施設等の更新・統廃合・長寿命化を総合的かつ計画的に推進する。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
地区内人口	人	地区内における小学校区人口の増減	豊川市立地適正化計画において、拠点地区の人口の維持を目標としていることから、定住人口の推移を示す指標として、地区を含む小学校区人口を指標とする。	26,210	R4	26,210	R9
鉄道駅利用者数の増加	人	JR東海道本線愛知御津駅の年間乗車人数の増減	豊川市立地適正化計画において、主要な鉄道駅の乗車人数の増加を目標としていることから、鉄道駅利用者数の推移を示す指標として、JR東海道本線の年間乗車人数を指標とする。	407,904	R4	411,575	R9
安全・安心分野に関する市民満足度の向上	ポイント	市民意識調査のうち、安全・安心分野等(交通安全対策等)に係る市民満足度の合計値	魅力あふれる都市空間の形成を目標としていることから、市民のまちづくりに対する満足度を示す指標として、市民意識調査の結果をポイント化し指標とする。	1,533	R4	1,969	R9
建設・整備分野に関する市民満足度の向上	ポイント	市民意識調査のうち、建設・整備分野等(住環境の整備等)に係る市民満足度の合計値	魅力あふれる都市空間の形成を目標としていることから、市民のまちづくりに対する満足度を示す指標として、市民意識調査の結果をポイント化し指標とする。	593	R4	1,518	R9

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
【拠点にふさわしい、コンパクトで魅力あふれる都市空間の形成】 地域の特性を活かし、基盤整備や生活サービス等の生活利便性の高い、活力とにぎわいのあるまちづくりを進める。	【基幹事業】 道路(南北自由通路) 公園(市木公園) 公園(椎木公園) 下水道(マンホール蓋等災害対策事業) 地域生活基盤施設(駐車場)愛知御津駅前公共駐車場第2駐車場 【関連事業】 JR愛知御津駅橋上駅舎整備事業 JR愛知御津駅周辺利便性向上事業 JR愛知御津駅駅前広場整備事業(北側) JR愛知御津駅駅前広場整備事業(南側) 豊川市拠点地区定住促進事業費補助金 豊川市都市機能立地促進事業費補助金 安全・安心事業
【地域の活性化に資する基盤整備の実施】 鉄道による市街地の分断を解消・緩和し、南北地区の住民のバリアフリーな往来を実現するため、南北自由通路の整備、JR愛知御津駅橋上駅舎化及び駅前広場整備を推進し、地域の活性化を図る。	【基幹事業】 道路(南北自由通路) 地域生活基盤施設(駐車場)愛知御津駅前公共駐車場第2駐車場 【関連事業】 JR愛知御津駅橋上駅舎整備事業 JR愛知御津駅利便性向上事業 JR愛知御津駅駅前広場整備事業(北側) JR愛知御津駅駅前広場整備事業(南側)
【安全・安心に暮らし続けられる生活環境づくり】 地域住民の安全性、居住性等を確保するために、道路、公園等の公共施設の改善を推進する基盤整備事業等を行う。	【基幹事業】 道路(南北自由通路) 道路(御津西方狐塚御馬塩浜線) 道路(御津御馬長床中島線) 道路(御津下佐脇宮本4号線) 公園(市木公園) 公園(椎木公園) 下水道(マンホール蓋等災害対策事業) 【関連事業】 JR愛知御津駅駅前広場整備事業(北側) JR愛知御津駅駅前広場整備事業(南側) ガード排水ポンプ整備事業 市内道路整備事業 公共施設等改修・長寿命化事業 安全・安心事業
その他	

様式(1)-④-1

交付対象事業費	2,260.2	交付限度額	1,129.6	国費率	0.500
(金額の単位は百万円)					
基幹事業					
事業	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間 開始年度 終了年度
道路	南北自由通路	豊川市	直	W=3.5m A=120㎡	R5 R12
道路	御津西方狐塚御馬場浜線	豊川市	直	L=130m	R6 R6 R6 R6
道路	御津御馬長床中島線	豊川市	直	L=80m	R7 R7 R7 R7
道路	御津下佐脇宮本4号線	豊川市	直	L=30m	R7 R7 R7 R7
公園	市木公園	豊川市	直	A=1,725㎡	R8 R8 R8 R8
公園	榎木公園	豊川市	直	A=3,165㎡	R8 R8 R8 R8
古跡保存・緑地保全等事業					
山川					
下水道	マンホール蓋等災害対策事業	豊川市	直	80箇所	R7 R8 R7 R8
駐車場有効利用システム					
地域生活基盤施設(駐車場)	愛知御津駅前公共駐車場第2駐車場	豊川市	直	A=2600㎡	R5 R9 R5 R9
高質空間形成施設					
高次都市施設 地域交流センター					
	観光交流センター				
	テレワーク拠点施設				
	子育て世代活動支援センター				
	複合交通センター				
誘導施設	医療施設				
	社会福祉施設				
	教育文化施設				
	子育て支援施設				
	元地の管理の適正化				
基幹的誘導施設					
既存建築物活用事業					
土地区画整理事業					
市街地再開発事業					
住宅街区整備事業					
パリアフリー環境整備事業					
優良建築物等整備事業					
住宅市街地総合整備事業					
街なみ環境整備事業					
住宅地区改良事業等					
都心共同住宅供給事業					
公営住宅等整備					
都市再生住宅等整備					
防災街区整備事業					
復興促進事業					
エリア価値向上整備事業					
こどもまんなかまちづくり事業					
合計					4,427.4 2,307.2 2,307.2 0.0 2,260.2 —
提案事業					
事業	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間 開始年度 終了年度
地域創造					
支援事業					
事業活用					
調査					
まちづくり活動推進事業					
合計					0.0 0.0 0.0 0.0 0.0
居住誘導促進事業					
事業	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間 開始年度 終了年度
居住誘導促進事業					
合計					0 0 0 0 0
合計(A+B+C) 2,260.2					
(参考)都市構造再編集中支援事業関連事業					
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○) 直轄 補助 地方単独 民間単独
					開始年度 終了年度
合計					全体事業費 0
(参考)関連事業					
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○) 直轄 補助 地方単独 民間単独
JR愛知御津駅地上駅舎整備事業	JR愛知御津駅	豊川市	—	—	開始年度 終了年度
JR愛知御津駅利便性向上事業	JR愛知御津駅	豊川市	—	—	開始年度 終了年度
JR愛知御津駅駅前広場整備事業(北側)	豊川市御津町地内	豊川市	—	〇	開始年度 終了年度
JR愛知御津駅駅前広場整備事業(南側)	豊川市御津町地内	豊川市	—	〇	開始年度 終了年度
豊川市拠点地区定住促進事業費補助金	地域拠点御津地区都市機能誘導区域内	豊川市	—	〇	開始年度 終了年度
豊川市都市機能立地促進事業費補助金	地域拠点御津地区都市機能誘導区域内	豊川市	—	〇	開始年度 終了年度
第一種中高層ビル整備事業	計画地区内	豊川市	—	〇	開始年度 終了年度
市内道路拡幅事業	計画地区内	豊川市	—	〇	開始年度 終了年度
公共施設等改修・長寿命化事業	計画地区内	豊川市	—	〇	開始年度 終了年度
安全・安心事業	計画地区内	豊川市	—	〇	開始年度 終了年度
事業効果分析事業	計画地区内	豊川市	—	〇	開始年度 終了年度
合計					1,598.4

地域拠点御津地区(愛知県豊川市)	面積	253.2 ha	区域	豊川市御津町赤根、大草、御馬、下佐脇、坪野、西方、広石、為当町の一部
------------------	----	----------	----	------------------------------------

